

# 茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書

## 平成 30 年度事業報告書

### ■分類 1 住民サービスの向上

- 1-1 p. 1 大学と連携した講座の開催
- 1-2 p. 2 生涯学習指導者研修の合同開催
- 1-3 p. 3 歴史・文化財等普及事業
- 1-4 p. 4 1市1町共通の社会教育講座の開設
- 1-5 p. 5 スポーツ・健康イベントの開催
- 1-6 p. 6 児童・生徒の交流の実施
- 1-7 p. 7 (仮称)河童徳利ひろば整備に関する取組
- 1-8 p. 8 ツイッターの共同活用、  
ホームページへのバナー相互掲載等情報発信力の強化
- 1-9 p. 9 JR相模線を活用した広報活動
- 1-10 p. 10 消防の広域化に関する検討

### ■分類 2 事務の効率化

- 2-1 p. 11 機関の共同設置等に関する調査研究
- 2-2 p. 12 保健福祉分野の連携に関する調査研究

### ■分類 3 市町相互の組織強化

- 3-1 p. 13 職員の人事交流の実施
- 3-2 p. 14 職員合同研修の実施
- 3-3 p. 15 福利厚生事業の共同実施
- 3-4 p. 16 教職員の人事交流の実施

令和元年 5 月

事務事業名	1-1 大学と連携した講座の開催【短期】
担当課	生涯学習分科会（茅ヶ崎市文化生涯学習課、寒川町協働文化推進課）
事業費	290,000円 [内訳] 委託料（文教大学公開講座）250,000円（全5回、茅ヶ崎市支出） 講師謝礼 40,000円（各20,000円、全2回、寒川町支出）

## 1. 平成30年度の取組概要

### (1) 上半期

例年の実施状況を踏まえ、連携体制を次のとおりとした。

- ・市町住民が受講できる講座とし、受講申込の受付は講座実施主体が行うこととする。
- ・市町で広報することとし、広報媒体はチラシ配架や市町ホームページとする。

### (2) 下半期

上半期に取り決めた連携体制のとおり取り組み、次のとおり講座を合同開催した。

- ・立正大学デリバリーカレッジ（10月、全3回、延べ受講者数106人、茅ヶ崎市主催）
- ・文教大学公開講座「観光・メディア情勢から見る今」（10月～12月、全5回、延べ受講者数253人、茅ヶ崎市主催）
- ・文教大学出張講座「国際観光の視点で地域を考える」（2月、全2回、延べ受講者数29人、寒川町主催）

## 2. 現状について

### (1) 成果

市町住民に学習機会の提供回数を増やすことができた。

### (2) 課題

市町相互の参加者数の増加を図るため、講座内容の工夫（相互での連続性を持たせたテーマでの実施もしくは異なったテーマでの実施）や講座実施回数等を検討していく必要がある。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
	60%	28%	12%	0%	0%
次年度の参加	希望する	どちらでもない		希望しない	
	100%	0%		0%	

立正大学デリバリーカレッジ受講者アンケート結果抜粋

## 3. 令和元年度の取組概要

市町の講座には、市町住民の参加を受け入れ、学習機会の提供回数を増やす。また、講座情報は、市町の広報紙やホームページへの掲載、公共施設等へのチラシ配架により広報する。

【事業費290,000円 [内訳] 委託料250,000円（茅ヶ崎市）、講師謝礼40,000円（寒川町）】

事務事業名	1-2 生涯学習指導者研修の合同開催【短期】
担当課	生涯学習分科会（茅ヶ崎市文化生涯学習課、寒川町協働文化推進課）
事業費	80,000円 [内訳]講師謝礼 60,000円（茅ヶ崎市）、講師謝礼 20,000円（寒川町）

## 1. 平成30年度 of 取組概要

### (1) 上半期

例年の実施状況を踏まえ、連携体制を次のとおりとした。

- ・市町住民の参加可能な研修とし、研修後に参加者の交流機会を設ける。
- ・市町で広報することとし、広報媒体はチラシ配架や市町ホームページとする。

### (2) 下半期

上半期に取り決めた連携体制のとおり取り組み、生涯学習支援者養成講座（全2回）を合同開催した。

また、各回で講義後に参加者間で情報交換をする時間を設け、市町住民の交流を図った。

- ・第1回「聴衆の心をつかんで離さない話し方・伝え方」（平成31年1月26日開催、茅ヶ崎市会場、参加者数茅ヶ崎市民23人・寒川町民5人・その他2人）

研修内容／講師として聴衆の心を掴むための話し方、伝え方について実際に実技を交えながら学ぶ。

- ・第2回「これからの世の中を生き抜く生涯学習と課題解決プロセス」（平成31年2月15日開催、茅ヶ崎市会場、参加者数茅ヶ崎市民6人・寒川町民9人・その他1人）

研修内容／変化する社会に対応する生涯学習の成果の活用や、課題解決策の作成方法等を講義、グループ討議等を通して学ぶ。

## 2. 現状について

### (1) 成果

研修後、参加者間で情報交換をする時間を設けたことで、生涯学習支援者同士の交流が生まれ、各々の活動機会を広げる機会を提供出来た。

[参加者の感想（一部抜粋）]

- ・参加型のセミナーで行われたので大変有意義。
- ・話をする時の話し方、伝え方のヒントが得られた。
- ・生涯学習についてのいろいろな課題がみえて興味深かった。

### (2) 課題

生涯学習支援者の養成につながるよう、来年度以降も参加者のニーズに沿った内容で講座を検討していく必要がある。

## 3. 令和元年度の取組概要

市町相互の指導者や講師間のネットワークづくりを推進する内容を検討・実施する。

【事業費 80,000円 [内訳] 講師謝礼 60,000円（茅ヶ崎市）、講師謝礼 20,000円（寒川町）】

事務事業名	1-3 歴史・文化財等普及事業【短期】
担当課	生涯学習分科会（茅ヶ崎市社会教育課、寒川町教育総務課・文書館）
事業費	236,270 円、公益財団法人神奈川県市町村振興協会助成金を活用 [内訳]講師謝礼 20,000 円、消耗品費 149,782 円、印刷製本費 26,744 円 手数料 2,808 円、委託料 36,936 円

## 1. 平成 30 年度の取組概要

### (1) 上半期

- ・共催展「幕末維新期の茅ヶ崎と寒川」

会 期／平成 30 年 7 月 21 日～8 月 31 日（36 日間）

会 場／茅ヶ崎市文化資料館、寒川文書館

来場者数／茅ヶ崎市民 488 人、寒川町民 1,813 人

説 明 会／8 月 5 日（寒川会場のみ、11 名参加）

講 演 会／8 月 5 日、於：シンコースポーツ寒川アリーナ（市民町民 37 人参加）

図書展示／7 月 21 日～8 月 31 日、於：寒川総合図書館

- ・考古学講座「茅ヶ崎・寒川の弥生時代」

開 催 日／平成 30 年 4 月 21 日、5 月 12 日、5 月 27 日

会 場／寒川町文化財学習センター

5 月 27 日は綾瀬市神崎遺跡資料館を見学

受講者数／延べ受講者数 43 人



展示会場の様子



講演会の様子

### (2) 下半期

次年度の事業実施計画を検討した。

## 2. 現状について

### (1) 成果

地域の歴史・文化に触れ学ぶ機会を創出し、社会教育の推進と地域文化の教育普及を図ることが出来た。

### (2) 課題

歴史関係についての事業は潜在的に需要のある分野であるため、今後とも魅力あるテーマの設定が必要である。

## 3. 令和元年度の取組概要

古墳時代に関する連続講座（全 3 回、寒川町文化財学習センター）を開催する。また、企画展「広報にみる昭和戦後と平成(仮)」及び記念講演会、ワークショップ（茅ヶ崎市文化資料館・寒川文書館）を開催する。

【事業費 250,000 円、公益財団法人神奈川県市町村振興協会助成金を活用予定  
[内訳]講師謝礼 20,000 円、消耗品費 163,000 円、印刷製本費 27,000 円、手数料 3,000 円、委託料 37,000 円】

事務事業名	1-4 1市1町共通の社会教育講座の開設【短期】
担当課	生涯学習分科会（茅ヶ崎市社会教育課、寒川町教育総務課）
事業費	115,833 円、公益財団法人神奈川県市町村振興協会助成金を活用 [内訳]講師謝礼 80,000 円、消耗品費 29,277 円、食糧費 218 円 手数料 1,728 円、保険料 4,610 円

## 1. 平成 30 年度 of 取組概要

### (1) 上半期

ごみの減量化を茅ヶ崎市及び寒川町の共通課題としてとらえ、「人と地球に優しい暮らし」をテーマに、ごみの減量化という共通課題の解決を目的に社会教育講座の開催を決定した。

### (2) 下半期

社会教育講座「人と地球に優しい暮らし」（全 2 回）を開設した。

- ・ 1 回目「江戸のシンプルな暮らし～江戸人の美学とリサイクル社会～」  
(11 月 27 日開催、茅ヶ崎市会場、参加者数茅ヶ崎市民 15 人・寒川町民 1 人)
- ・ 2 回目「家庭の冷蔵庫から食品ロスをなくす～冷蔵庫整理収納講座」  
(12 月 7 日開催、寒川町会場、参加者数茅ヶ崎市民 7 人・寒川町民 3 人)

## 2. 現状について

### (1) 成果

相互の講座に参加できることで、市町住民の学ぶ機会を増やすことが出来た。



11 月 27 日開催 茅ヶ崎市会場

[参加者の感想（一部抜粋）]

- ・物をできるだけ捨てないで利用し、ゴミを出さない工夫も大切だと思った。
- ・食品ロスの意識を高めることが出来た。

### (2) 課題

参加者が、定員まで達さない傾向がある。



12 月 7 日開催 寒川町会場

## 3. 令和元年度の取組概要

寒川町において、令和元年度から指定管理委託している公民館が社会教育講座を実施することから、市町担当課においてそれぞれ取り組む事業として整理し、廃止とします。

事務事業名	1-5 スポーツ・健康イベントの開催【短期】
担当課	生涯学習分科会（茅ヶ崎市スポーツ推進課、寒川町健康・スポーツ課）
事業費	なし

## 1. 平成30年度の実施概要

### (1) 上半期

市町住民の参加できるスポーツ・健康イベントの情報を市町で広報（市町広報紙やホームページ、チラシ配架）することで、市町住民にスポーツをする機会や健康について考える機会を提供した。

### (2) 下半期

上半期と同様の取組を継続した。

#### [相互受入をしたスポーツ・健康イベント]

茅ヶ崎市新体カテスト、市民健康マラソン大会、寒川町チャレンジデー、さむかわスポーツデイ、さむかわフライングディスク教室

## 2. 現状について

### (1) 成果

市町住民の健康増進と地域交流が図られた。

### (2) 課題

市町住民の参加が期待されたほど増加していないので、スポーツ・健康イベントの情報を市町で広報を継続的に実施し、市町住民の参加を促す必要がある。

## 3. 令和元年度の実施概要

市町住民の参加できるスポーツ・健康イベントの情報を共有し、広報を継続的に実施し、参加機会を提供する。

#### 【事業費なし】



茅ヶ崎市 新体カテスト



寒川町 チャレンジデーラジオ体操

事務事業名	1－6 児童・生徒の交流の実施【短期】
担当課	教育施策分科会（茅ヶ崎市広域事業政策課・学校教育指導課、寒川町企画政策課・学校教育課）
事業費	なし

## 1. 平成 30 年度 of 取組概要

### (1) 上半期

例年の継続事業として、茅ヶ崎寒川地区教育研究会では、音楽会、弁論大会、創作ダンス、美術展、中学校での部活動では、各種運動競技の大会等を通して、交流を行った。

### (2) 下半期

上半期と同様の取組を継続した。

また、市町が各々で実施している事業の実施方法を工夫するなどして、連携事業としての枠組みを検討した。

## 2. 現状について

### (1) 成果

例年の継続事業は、市町間の児童・生徒が共にふれあうことで視野を広げ、競い合うことなどの経験を積むことにより、社会性や豊かな人間性を育むことに寄与した。

### (2) 課題

既に市町の児童・生徒交流は図られていることから、新たな交流事業を、教育課程に支障をきたさずに設定することは、困難であるため、情報交換を行いながら、取り組める事業については適宜連携していく。

## 3. 令和元年度の取組概要

市町の児童・生徒の参加が望まれる事業（市又は町が主催）について、市町の関係課等と事務調整等を行い、児童・生徒が交流する機会を創出する。

【事業費なし】



茅ヶ崎寒川地区小学校音楽会



茅ヶ崎寒川地区創作ダンス発表会

事務事業名	1-7 (仮称) 河童徳利ひろば整備に関する取組【中長期】
担当課	広域公園整備分科会 (茅ヶ崎市広域事業政策課・公園緑地課、寒川町都市計画課)
事業費	なし

## 1. 平成 30 年度の取組概要

### (1) 上半期

市町の担当課で現状の課題や今後の整備方針、整備スケジュールについて情報共有を図り、課題解決のための意見交換を行った。また、「(仮称) 河童徳利ひろば準備委員会」に対し、整備方針の変更について説明を行った。

### (2) 下半期

広場の整備・供用開始に向けて、関係機関との調整を行いながら測量業務を進めるとともに、地権者に対し今後の事業方針について説明を行い改めて事業の協力を求めた。

また、市町の担当課で今後の整備スケジュールについて改めて情報共有を図り、今後も連携して事業に取り組んでいくことを確認した。

## 2. 現状について

### (1) 成果

市町の住民が相互に利用できる広場整備による憩いの場の設置やにぎわいの創出に向けて、現状の課題や今後の整備方針、整備スケジュールについて情報共有を図りつつ、課題解決のための意見交換を行うことができた。また、広場の整備・供用開始に向けて、関係機関との調整を行いながら測量業務を進めることができた。

### (2) 課題

整備内容や整備後の利活用方針、管理・運営方法等について、引き続き地元との意見交換や関係機関との調整を行い、広く合意形成を図りながら検討を進める必要がある。また、広場予定地は市町にまたがることから、整備にあたっては市町の議会の承認を必要とするため、今後も連携を図りながら事務を進めていく必要がある。

## 3. 令和元年度の取組概要

広場の整備・供用開始に向けて、関係機関との調整や地元と意見交換を行い、広く合意形成を図りながら広場整備を実施する。また、整備後の管理運営方法や利活用について、引き続き地元と協議を行う。

【事業費 46,464,000 円[内訳]広場整備工事 46,464,000 円 (茅ヶ崎市)】



事務事業名	1-8 ツイッターの共同活用、ホームページへのバナー相互掲載等情報発信力の強化【短期、中長期】
担当課	広報分科会（茅ヶ崎市秘書広報課、寒川町広報戦略課）
事業費	なし

## 1. 平成30年度の取組概要

### (1) 上半期

SNSの共同活用拡充に関する検討、市町公式ホームページへのバナー掲載やツイッターの共同活用、フェイスブックの活用可能性と情報連携についての検討を継続した。

[共同記者発表の実績]

- ・ 聖天橋の供用を開始します！（6月12日）
- ・ 浜降祭（7月9日）

### (2) 下半期

上半期と同様の取組を継続した。また、各市町庁舎のデジタルサイネージの相互利用について検討を行った。

[共同記者会見の実績]

- ・ ～将来の課題を解決するため～「消防の広域化」を目指し、協議書の調印式を行います（3月22日）

## 2. 現状について

### (1) 成果

市町ホームページの見やすい位置に広域連携に係るバナーを掲載したことで、市町住民に情報を周知することが出来た。

イベント情報をツイッター上で共有することで、市町住民に情報発信することが出来た。（ツイッターフォロワー数前年度比で、茅ヶ崎市約895増、寒川町約331増）

市町共通の情報を共同記者発表としたことで、報道機関へ効果的に周知することが出来た。

茅ヶ崎市庁舎のデジタルサイネージ（エレベーターサイネージ・140inch モニターサイネージ）に寒川町のイベント（ARK LEAGUE 2019 IN SAMUKAWA）の情報を試行的に掲載することとした。

### (2) 課題

サイネージ掲載試行に当たって掲載基準や取り扱いを整理する必要がある。

## 3. 令和元年度の取組概要

イベント情報などをツイッター上で共有することで情報発信を行う。

1市1町で進めている事業の積極的な共同記者発表を実施する。

【事業費なし】

事務事業名	1-9 JR相模線を活用した広報活動【短期】
担当課	広報分科会（茅ヶ崎市秘書広報課、寒川町広報戦略課）
事業費	なし

### 1. 平成30年度の取組概要

#### (1) 上半期

茅ヶ崎市民、寒川町民ともに利用者の多い駅改札口に広報紙を配架し情報の浸透を図った。配架部数は、JR茅ヶ崎駅に市町広報紙を各号約250部、JR寒川町駅に市町広報紙を各号約100部。

#### (2) 下半期

上半期と同様の取組を継続した。

### 2. 現状について

#### (1) 成果

広報紙をJR茅ヶ崎駅及び寒川駅に配架したことで、市町住民だけでなく、鉄道利用者にも情報発信することが出来た。

#### (2) 課題

駅構内でのポスター掲示等は、有料広告のみであるため、財政状況を踏まえ検討が難しいとの結論にいたった。

### 3. 令和元年度の取組概要

1市1町それぞれの広報紙を寒川駅・茅ヶ崎駅に引き続き配架し、広く情報発信を行うとともに、これまでの運用状況等を検証し、今後の対応を検討する。

また、駅構内でのポスター掲示等以外の手法を、関係機関等と協議し、検討する。

【事業費なし】



JR茅ヶ崎駅(左)・寒川駅(右)に市町の広報紙を配架

事務事業名	1-10 消防の広域化に関する検討【中長期】
担当課	茅ヶ崎市及び寒川町における消防広域化検討委員会及び作業部会 (茅ヶ崎市消防総務課・広域事業政策課、寒川町消防総務課・企画政策課)
事業費	なし

## 1. 平成30年度の実施概要

### (1) 上半期

茅ヶ崎市と寒川町（以下「両市町」という。）で「茅ヶ崎市・寒川町広域消防運営計画」（以下「運営計画」という。）のパブリックコメントを実施するため、両市町それぞれの内部会議において協議を行い、8月には運営計画について両市町が合意した。



寒川町長と茅ヶ崎市長の規約の協議書への調印

### (2) 下半期

10月に両市町で運営計画のパブリックコメントを実施し、その結果を反映させた規約を、3月に両市町の議会へ議案提出した。3月22日には規約についての議案が両市町で可決されたため、運営計画を策定し、3月27日に規約の協議書に調印、その旨を両市町に告示するとともに県への届出を行った。

## 2. 現状について

### (1) 成果

消防の広域化の開始時期が令和4年4月1日からと定まったため、今後3年間をかけて、両市町が協力して具体的な準備を進めていく体制が整った。

### (2) 課題

別々の組織が、消防の広域化の開始直後から、一つの組織として災害出動する可能性があるため、準備期間での具体的な調整が必要となってくる。準備期間における現場活動及び業務等の調整は、円滑な業務遂行のために必要不可欠と言える。

## 3. 令和元年度の実施概要

平成28年度から検討を続けてきた「茅ヶ崎市及び寒川町における消防広域化検討委員会」及び「同検討委員会作業部会」を活用して、両市町の消防本部を中心に具体的な調整を進めていく体制を早期に確立する。令和2年度からの財政支援についても有効活用できるよう両市町で調整を進めていく。

【事業費なし】

事務事業名	2-1 機関の共同設置等に関する調査研究【中長期】
担当課	広域連携制度研究分科会（茅ヶ崎市広域事業政策課・監査事務局、寒川町企画政策課・監査委員事務局）
事業費	なし

### 1. 平成30年度の取組概要

#### (1) 上半期

監査部門による機関の共同設置に向け、随時、市町の監査基準、監査委員の職務範囲、監査実施手法等の比較など情報の共有を図り、意見交換をするなど調査研究を行った。

また、地方自治法等の一部を改正する法律に係る情報収集を各市町の監査部門で行い、国が示す監査基準案や実施要領案等について情報の共有を図り、意見交換を行った。

#### (2) 下半期

上半期と同様の取組を継続した。

### 2. 現状について

#### (1) 成果

第1期で掲げた目的・効果を実現するための調査研究や、地方自治法の一部改正に伴う監査基準案等策定についての意見交換から、監査部門による機関の共同設置は市町では有効でないと結論づけることができた。

#### (2) 課題

市町においては、有効的な機関の共同設置等が見いだせていない。

### 3. 令和元年度の取組概要

監査部門による機関の共同設置等の調査研究は廃止とする。

他の分野については、国の動向を注視するとともに、他の手法も含めて新たな広域連携事業を検討する。

【事業費なし】

事務事業名	2-2 保健福祉分野の連携に関する調査研究【中長期】
担当課	広域連携制度研究分科会（茅ヶ崎市広域事業政策課・総務省「新たな広域連携に関する調査研究」事業関係課、寒川町企画政策課・総務省「新たな広域連携に関する調査研究」事業関係課）
事業費	なし

## 1. 平成 30 年度の取組概要

### (1) 上半期

平成 27 年度に実施した「新たな広域連携に関する調査研究」により得られた各業務の連携の可能性について、共通認識を図りながら取り組みスケジュールの確認を行った。

寒川町において、初期救急医療の体制を維持することが困難な状況となったため、広域連携の可能性や実施方法について検討を行った。

### (2) 下半期

上半期に引き続き、各業務の連携の可能性について、市町で意見交換をした。

特に、初期救急医療の広域連携について、平成 31 年 4 月から開始できるように具体的な調整を行った。

## 2. 現状について

### (1) 成果

平成 27 年度に実施した「新たな広域連携に関する調査研究」により得られた各業務のうち、地域医療推進分野である初期救急医療について、平成 31 年 4 月から茅ヶ崎市地域医療センターにおいて、医科、歯科、調剤に対応できる体制を広域連携により整えることができた。

### (2) 課題

平成 27 年度に実施した「新たな広域連携に関する調査研究」により得られた各業務の連携の可能性について、社会情勢や市町の状況の変化を見ながら、さらに検討する必要があります。

## 3. 令和元年度の取組概要

平成 29 年 6 月に開設した「在宅ケア相談窓口」の継続により、医療と介護の連携を推進し、同じ保健所圏域であることを活かしたサービスを提供する。また、平成 27 年度の「新たな広域連携促進事業成果報告書」をもとに、他の手法も含めて新たな広域連携事業を検討します。

【事業費なし】

事務事業名	3-1 職員の人事交流の実施【短期】
担当課	人材育成分科会（茅ヶ崎市職員課、寒川町総務課）
事業費	なし

## 1. 平成30年度の取組概要

### (1) 上半期

平成30年度から新たに交流分野を保育、高齢介護とし、職員を相互に派遣し、人事交流を実施した。（交流期間は令和2年3月31日まで）また、消防についても引き続き人事交流を実施した。

### (2) 下半期

上半期に引きつづき、職員を相互に派遣し、人事交流を実施した。

## 2. 現状について

### (1) 成果

人事交流による1市1町の相互理解、相互応援の促進の効果は高く、交流終了後、他所属に移っても構築した人脈等を活用して業務における協力や連携、情報交換などにより相互の発展に寄与している。

[人事交流をした職員の感想（一部抜粋）]

- ・交流先の担当業務について深く集中して携わることができた。
- ・交流から戻っても、業務で連携することが多いので、交流によって築いた人脈等は今後も大いに活かすことができる。
- ・交流先での業務経験を、戻った所属でフィードバックできている。

### (2) 課題

市町の行政規模に違いがあるため、事務執行体制に影響の出ない範囲で交流を継続する必要がある。

## 3. 令和元年度の取組概要

交流期間が2年間であることから、引き続き保育、高齢介護、消防2人で人事交流を行う。また、令和2年度からの人事交流について検討を行う。

【事業費なし】

事務事業名	3-2 職員合同研修の実施【短期】
担当課	人材育成分科会（茅ヶ崎市職員課、寒川町総務課）
事業費	340,756 円 公益財団法人神奈川県市町村振興協会研修センター地域別研修助成金を活用 [内訳]講師謝礼 340,000 円、手数料 756 円

### 1. 平成 30 年度の取組概要

#### (1) 上半期

市町担当課で協議のうえ、研修テーマを「1市1町で取り組む広域連携事業について」とした。

研修は6月～8月にかけて4回開催し、受講者数は茅ヶ崎市職員9人、寒川町職員6人であった。

#### (2) 下半期

上半期に実施した研修について、市町で意見交換を行った。

### 2. 現状について

#### (1) 成果

政策研修では、1市1町での共通課題に対して考えながら、政策形成について学ぶことができた。また、研修を通じて、市町職員の交流を深めることができた。

[政策研修で受講生の取り組んだ内容]

- ・(仮称)茅ヶ崎市・寒川町ウエルカムベビープロジェクト
- ・1市1町風水害時避難実施計画の策定に向けて
- ・コミュニティバスの運行利用の拡大・こども公園バスの新設について  
— 1市1町で取り組む広域連携事業 —

#### (2) 課題

政策形成研修において、共通課題となるテーマの設定が難しい。また、政策形成研修を行うに当たり、政策形成に関する基礎的な知識を得る研修開催を検討する必要がある。

### 3. 令和元年度の取組概要

1市1町の共通の課題をテーマとした合同研修を実施する。

【事業費 500,000 円、公益財団法人神奈川県市町村振興協会研修センター地域別研修助成金を活用予定、[内訳]講師謝礼 500,000 円】

事務事業名	3-3 福利厚生事業の共同実施【短期】
担当課	人材育成分科会（茅ヶ崎市職員課、寒川町総務課）
事業費	なし

## 1. 平成30年度の取組概要

### (1) 上半期

両市町において、事業参加の費用負担の考え方、実施時期、事業規模の違いなどがあり、合同実施に向けた調整が困難であることを確認した。

### (2) 下半期

上半期と同様の取組を継続した。

## 2. 現状について

### (1) 成果

今年度は合同実施には至らなかった。

### (2) 課題

両市町において、事業参加の費用負担の考え方、実施時期、事業規模の違いなどがあり、合同実施に向けた調整が困難である。

## 3. 令和元年度の取組概要

両市町において、事業参加の費用負担の考え方、実施時期、事業規模の違いなどがあり、合同実施に向けた調整が困難であることから廃止とする。

【事業費なし】



事務事業名	3-4 教職員の人事交流の実施【短期】
担当課	学校教育分科会（茅ヶ崎市学務課、寒川町学校教育課）
事業費	なし

## 1. 平成30年度の取組概要

### (1) 上半期

小学校に各1名の人事交流を実施した。また、人事交流を行っている教諭等の授業参観、懇談、意見交換を実施予定だったが、予定した職員が産休のため実施しなかった。

### (2) 下半期

人事交流を行っている教諭等の授業参観、懇談、意見交換を実施した。

[人事交流報告会] 平成30年11月16日、場所は茅ヶ崎市立第一中学校

## 2. 現状について

### (1) 成果

市町における特色ある教育を学び、取り入れることで教職員の資質が向上し、市町の児童・生徒の学力向上が図られる。

[交流した教職員の感想（一部抜粋）]

- ・違う市町の学校で経験することにより、今までになかった経験ができて貴重な勉強をすることができている。
- ・交流期間が3年は中途半端という感じがする。もう少し長くてもいいとも思う。交流者の希望も考慮してもいいのではないか。
- ・交流で得られた経験を戻った時に、生かすことが出来、非常に有意義な取り組みであると思う。これからも、無理のない範囲で継続してほしい。

### (2) 課題

人材確保の困難さから人事交流教職員数を小学校各1人とした。継続的な実施に向けて、人事交流に係る事項の見直しを検討する必要がある。

## 3. 令和元年度の取組概要

人事交流を実施する。(合計9人。平成28年度から継続3年目4人、平成29年度から継続2年目3人、平成30年度から2人)

【事業費なし】

茅ヶ崎市・寒川町広域連携施策推進計画書 平成 30 年度事業報告書

令和元（2019）年 5 月

編集 茅ヶ崎市企画部広域事業政策課、寒川町企画部企画政策課